

『福束排水機場ポンプ増設工事』完成式

～ 養老町で式典 内水被害の軽減に向けて ～



木野輪之内町長



ポンプ起動により排水開始！



揖斐川へ勢いよく流れ出す水

- 国土交通省木曽川上流河川事務所が進めてきた福束排水機場（養老町大巻）のポンプ増設工事が完了し、15日、同排水機場で完成式が行われました。

輪之内町内を流れる大樽川は、揖斐川の左支川にあたり、揖斐川と長良川の2大河川に挟まれた低平地に位置し、過去、何度も内水被害が発生。増水時の内水被害の軽減に向けて、輪之内町、岐阜県、国が連携し、平成23年11月に「大樽川総合内水対策計画」を策定し、今回のポンプ増設は、この計画に基づき行ったもの。これまで3台のポンプ稼働で、洪水時に毎秒17.88トンであった排水量が、今回、4台目を増設したことで、毎秒26トンと約1.5倍に引き上げました。

式典には、地元国会議員、県議会議員、輪之内町長、町議会議員等の関係者約30名が出席。木野輪之内町長は、「低湿地帯の輪之内町に住む住民は水の恵みの恩恵と同時に、水害による水の恐ろしさも身に染みて知っている。今後は、総合内水対策計画で定めた施策について、自治体の役割の中で、責任をもって着実に進めていくことが、地域の安全・安心を守る上で大切だと考えている」と挨拶。その後出席者は、揖斐川河川敷で増設ポンプの起動ボタンを押し、揖斐川へ勢いよく流れ出す水を確認し、工事の完成を祝いました。